



議員 山崎 昌 和 政 会

問 町内インフラの維持、整備は

答 順次進めていく

問 湾台の道路と新しくできた道路の接続部分で幅員に差があり、車の通行時に片方が停まっているなど、通行に支障をきたしている。早期に改善すべきではないか。

佐藤町長 当該箇所は、工事の準備を進めており、本年度内に完成する予定としている。
問 町道海蔵寺線は劣化や損傷が著しい。降雨時には水がたまり、通行の妨げになっている。国県の復旧事業が終了した現在、町道整備も並行して行わなければ完全復旧と呼べない。整備方針は。

町長 周辺水路の改修と道路のかさ上げによる改良整備を計画している。令和6年度は事業用地取得の上、水路の改修工事に着手し、7年度から道路のかさ上げ整備工事に着手する予定としている。

幅員が狭い船越地区湾台の道路



問 大規模工事になるので、住民への周知が必要になるのではないか。
佐々木建設課長 かわら版などを配布し、周知を図る。

問 町道前須賀・タブの木荘線と早川1号線の今後の整備計画は。
町長 6年度に全面的な調査を実施する。これに先行して、現在準備を進めている早川川の改修工事で、河川交差部付近の舗装および側溝を改修する。また、早川1号線の埋もれている側溝も同工事に併せて改修する予定としている。

路面や側溝の損傷が見られる町道前須賀・タブの木荘線と早川1号線



問 ブルーカーボン事業の活用は

答 今後検討する

問 当町の基幹産業である水産業において、海水温の上昇により水揚げが減少し、団体、企業、そして個人も経済的に苦しんでいるように見受けられる。水産従事者は既存の水揚げ収入以外で、収入を得ようとして努力している。この取組が軌道に乗るまでの支援策が必要ではないか。

町長 新たな漁業種への転換や生産体制の改革などの取組が必要である。漁協等が事業を実施する際は計画策定などを支援していく。

町長 新たな漁業種への転換や生産体制の改革

加藤水産商工課長 非常に有効な施策であると思う。今後検討していく。



ブルーカーボン

海藻藻場などの海洋生態系に取り込まれた炭素のことで、海藻藻場などの保全活動等によって創出されたブルーカーボンを取引する仕組みがあり、創出者は保全活動等の資金確保、購入者（企業・団体等）は二酸化炭素の間接的削減や組織の価値向上が期待されます。